

様式第三十三号 支払通知(歳出金支払通知書)再下付申請書

債権者住所氏名	
支払通知書発行年月日及び番号	昭和 年 月 日 発行 直 第 号
金額	
取扱い金庫及	何庁何金庫 取扱
再交付を必要とする理由	
未払証明	右は支払未済であることを証明します。 昭和 年 月 日 鳥取県何金庫 印

右支払通知書再交付下さるよう申請します。

昭和 年 月 日

債権者 住所

氏 名 印

鳥取県出納長(何庁解出納員) 氏 名 殿

備考 1 この申請書に押す印は請求書に押した印と同一の印を押すこと。支払通知書その他と照合し証明する。  
 2 県金庫においてこの申請書に未払証明の願出があつたときは、支払通知書その他と照合し証明する。  
 3 再交付を必要とする欄にはその詳細を記載する。

(面裏) 書証領受

領受書証	領收証書
昭和 年 月 日 住所 氏 名 印	昭和 年 月 日 住所 氏 名 印
表書の金額領収しました。	右受領しました。
但し、	但し、
現金	現金
何年度 何人歳出外現金	何年度 何人歳出外現金
第 号 住所 氏 名 印	第 号 住所 氏 名 印
出納長印	出納長印
昭和 年 月 日 住所 氏 名 印	昭和 年 月 日 住所 氏 名 印
右納付しました。	右納付しました。
但し、	但し、
現金	現金
何年度 第 号 何人歳出外現金	何年度 第 号 何人歳出外現金
収支命令者 主任	収支命令者 主任

様式第三十四号(用紙縦百七十九ミリメートルの二枚挿紙)横百二十七ミリメートルのもの

様式第三十五号(用紙縦百七十九ミリメートルのものを二枚接続)

(証書領受)

書証領受

書付納券証領有

収支命令者 主任	第 号 何年度 有価証券	第 号 何年度 有価証券	出納長前 .....	第 号 住所 氏 名 納	第 号 住所 氏 名 納
一、何々証券(債券)額面(券面)金額何程 但し、何々(代用) 昭和 年 月 日渡以降利札附 額面(券面)金何円券記号番号 何枚 右納付しました。		一、何々証券(債券)額面(券面)金額何程 但し、何々(代用) 昭和 年 月 日渡以降利札附 額面(券面)金何円券記号番号 何枚 右納付しました。		一、何々証券(債券)額面(券面)金額何程 但し、何々(代用) 昭和 年 月 日渡以降利札附 額面(券面)金何円券記号番号 何枚 右受領しました。	
昭和 年 月 日 住所 氏 名 納		昭和 年 月 日 住所 氏 名 納		昭和 年 月 日 住所 氏 名 納	
表書の有価証券領収しました。		表書の有価証券領収しました。		表書の有価証券領収しました。	

様式第三十六号(用紙半紙)

入札保証金納付書	右納付しました。 但し、 昭和 年 月 日 納入住所 氏 名 納	入札主任職 氏 名 殿	割印
受取人 昭和 年 月 日 氏 名 納	右受領しました。 但し、 昭和 年 月 日 入札主任職 氏 名 殿	納入氏 名 殿	頭記の金額領収しました。

様式第三十七号(用紙半紙)

<p>入札保証金代用有価証券納付書</p> <p>一、何々証書(債券)額面(券面)金額何程 但し、何々(代用) 額面(券面)金何円券 記号番号 何 昭和 年 月 日 渡以降利札付</p> <p>右 納付 しまし た。</p> <p>昭和 年 月 日</p> <p>納人住所 氏 名 入札主任 職氏 名殿 氏 名</p>		<p>割印</p>
<p>受領証書</p> <p>一、何々証書(債券)額面(券面)金額何程 但し、何々(代用) 額面(券面)金何円券 記号番号 何 昭和 年 月 日 渡以降利札付</p> <p>右 受領 しまし た。</p> <p>昭和 年 月 日</p> <p>納人氏 名殿 入札主任 職氏 名 氏 名</p>		<p>受取人 昭和 年 月 日 氏 名</p>

様式第三十八号

原符 紙百七十九ミリアメートルの一枚  
紙百七十九ミリアメートルの一枚  
その他紙百七十九ミリアメートルの一枚  
その他紙百七十九ミリアメートルの一枚  
(用紙半紙) 連続

<p>第一号 何年度 歳入歳出外現金 契約保証金(何々金)</p> <p>一金 権利者 住所 氏 名 昭和 年 月 日</p>		<p>出納長印</p>		<p>第一号 何年度 歳入歳出外現金 契約保証金(何々金)</p> <p>一金 権利者 住所 氏 名 昭和 年 月 日</p>		<p>出納長印</p>	
<p>寄託する。</p> <p>右 寄託者 住所 氏 名 昭和 年 月 日</p> <p>鳥取県何々金庫御中 氏 名</p>		<p>金庫印</p>		<p>鳥取県何々金庫御中 氏 名</p>		<p>出納長(県出納員) 氏 名 納</p>	
<p>何年度 歳入歳出外現金 契約保証金(何々金)</p> <p>一金 権利者 住所 氏 名 昭和 年 月 日</p>		<p>右 領收 しまし た。</p> <p>昭和 年 月 日</p> <p>鳥取県何々金庫 氏 名</p>		<p>表書の金額(この証書引換に 本券持参人又は何々金庫において) 払渡されたい。</p> <p>昭和 年 月 日</p> <p>出納長(県出納員) 氏 名</p>		<p>鳥取県何々金庫御中 氏 名</p>	

領收証書

歳入歳出外現金払渡通知書

収入印紙

受取人

氏名 何

住所

昭和 年 月 日

右の金額を受取りました。

何	年	度	歳入	歳出	外現金
払	渡	通	知	第	号
払	渡	通知を	あてた	鳥取	鳥取
払	渡	指定	鳥取	何々々	金庫
			県	何々々	金庫
			金	何	庫

金

上記の金額を指定県金庫から受領されたい。

昭和 年 月 日

鳥出納長 (県出納員)

氏

名

何

某殿

様式第三十九号(用紙模造紙横二百二十センチ縦百五十八センチ)

収入印紙

委任状

表面金額の受取を

に委任しました。

昭和 年 月 日

氏名 住所

印

(裏面)

- 一、受取人は、表面領收証に住所、氏名を記入し、印を押さなければならぬ。
- 二、受取人の印章は、請求書に押したものと同一のものでなければならぬ。
- 三、受取人が県外であるときは、県金庫の送金をまち、金券到着の上は直ちに本書は、支払通知をあてた県金庫に送付されたい。
- 四、受取人が代理人に現金支払の請求をさせようとするときは、本人において本署委任状欄に相当の事項を記入し、記名して印を押すか、又は別に委任状を差し出さなければならぬ。この場合代理人は、本書に代理人であることの肩書を附記し、記名して印を押さなければならぬ。
- 五、受領金額百円以上のものは規定の収入印紙をはり消印しなければならぬ。但し、営業に関しないものは、この限りでない。
- 六、本書を亡失したときは、直ちに、その旨を払渡を受ける県金庫に通知し、支払の停止を請求しなければならぬ。

様式第四十号 (B列五号)

支払(払渡)通知領收証書

何 年 度

一 般 (特 別) 会 計

歳出 (歳入又は歳入歳出外現金)

支払通知第 号

一金

前記支払(払渡)通知領收しました。

昭和 年 月 日

鳥 取 県 何 々 金 庫 印

出納長(県出納員)

氏

名 殿

様式第四十一号

原 符

第 号 回 送 先 鳥 取 県 何 々 金 庫  
 一金 但し、(事由)

発 送 年 月 日 領 收 証 書 着 書 年 月 日

割 印

第 号 種 別 現 金 (何々)

右 金 額 回 送 しまし た。  
 昭 和 年 月 日

鳥 取 県 何 々 金 庫 御 中

鳥 取 県 何 々 金 庫 印

書 立 差 金 送 回

様式第四十二号

第 号 鳥取県何々金庫  
差立書第々金庫号

符 原

一金

但し、現金(小切手)

年 月 日

割印

第 号 第 差 立 号 書 現 金 (何々)

一金

但し、現金(何々)

右回送金領収しました。

昭和 年 月 日

鳥取県何々金庫 御中

書証收領金送回

鳥取県何々金庫 御中

様式第四十三号

昭和 年度	氏名	職名	員外		員内		科 目	調 定	済 分	額		欠 損		額		備 考	
			前未済	本月済	前未済	本月済				前未済	本月済	前未済	本月済				
昭和			員外	員内	員外	員内											
昭和	一般(特別)	計	員外	員内	員外	員内											
昭和	此入計算書		員外	員内	員外	員内											
昭和	解名		員外	員内	員外	員内											
昭和	果出納員		員外	員内	員外	員内											
昭和	氏名		員外	員内	員外	員内											
昭和	年月日		員外	員内	員外	員内											
昭和	年月日		員外	員内	員外	員内											

- 1 記載事項中金額の減額となるものは朱記すること
- 2 調定減額入下戻及び更正増減額は当該科目の下欄に朱書又は黒書しその理由更正先その他必要と認めらる事項を備考欄に記載すること
- 3 一般会計と特別会計は各別に調製し款が二以上の場合は末尾に合計を附すること

科 目	予算合 達受高 円	前月 支払済 円	で 通知 済 円	本 月			差引計 円	累計 円	差予 算高 円	備 考
				支 払 済 高 円	定 入 高 円	科 目 更 正 高 円				
昭和 年度										
一般(特別) 計										
昭和 年月分										
支出計算書										
職 氏名										
縣出納員 氏名										
昭和 年月 提出										

様式第四十四号

- 備考 1 記載事項中金額の減額となるものは未記すること  
 2 備考欄には科目更正先その他必要と認める事項を記載すること  
 3 一般会計と特別会計は各別に調製し数が二以上の場合は末尾に合計を附すること

摘要	高	受入高	計	払出高	翌月へ		備 考
					越 高 円	手 保 高 円	
昭和 年度							
歳入金							
歳出金							
歳入歳出 外現金							
昭和 年月分							
現金出納計算書							
職 氏名							
縣出納員 氏名							
昭和 年月 提出							
合 計							

様式第四十五号

現金出納計算書



何 年 度

何年何月分歳出金月計対照表

様式第四十八号

会計名	案内支払通知受領額			現金支払額			差引支払未済額
	本月分	前月まで累計	合計	本月分	前月まで累計	合計	
	円	円	円	円	円	円	円

書面のとおりに相違ないので証明願います。

年 月 日

鳥 取 県 何 々 金 庫 印

出納長 (県出納員) 氏 名 殿

書面の金額調査した結果相違ないことを証明します。

年 月 日

出納長 (県出納員) 氏 名 印

備考 この表は一般会計及び特別会計の各別に調製し特別会計にあつては各会計ごとに掲記するものとする。

何 年 度

何年何月分歳入歳出外現金月計対照表

様式第四十九号

受	入			出			現金支払未済高
	本期分	前期まで合計	合計	本期分	前期まで合計	合計	
円	円	円	円	円	円	円	円

書面のとおりに相違ないので証明願います。

年 月 日

鳥 取 県 何 々 金 庫 印

出納長 (県出納員) 氏 名 殿

書面の金額調査した結果相違ないことを証明します。

出納長 (県出納員) 氏 名 印

様式第五十号

何 年 度  
現 金 日 計 表  
年 月 日

摘 要	受 入	払 出	差 引
一般会計歳入出金	円	円	円
特別会計歳入出金			
歳入歳出外現金			
回 送 金			
收 入 振 替 金			
支 出 振 替 金			
小 計			
前 日 越 金			
本 日 残 高			
	本日残高内訳	支払未済額	
一般会計歳入出金	円	円	
特別会計歳入出金			
歳入歳出外現金			
回 送 金			
收 入 振 替 金			
支 出 振 替 金			

備 考 支払未済額は支出簿により支出振替金の現金交付未済額は含ないものとする。

昭和 年 月 日 日県金庫現金現在高報告表 様式第五十一号

会 計 名	前 日 越 高	受 入		払 出		総 計	支払未済額	差引現在額
		県	経 済	県	経 済			
1 一般会計								
(特別会計は会計名)								

上記のとおり報告します。

昭和 年 月 日

鳥 取 県 出 納 長 何 \*

鳥 取 県 本 金 庫 印

様式第五十二号

何年度一般(特別)会計剰余金繰越報告書

片 牌 名	歳 入 額	歳 出 額	繰 計 剰 余 額
	円	円	円

総 計			
-----	--	--	--

本書のとおり繰越済につき報告します。

昭和 年 月 日

鳥取県知事氏

名 殿

鳥取県本金庫 印

備考 特別会計にあつては款ごとに調整するものとする。

様式第五十三号 (B列五号)

昭和 年度 歳出  
昭和 年 月 分

(款) \_\_\_\_\_

(項) \_\_\_\_\_

(目) \_\_\_\_\_

(節) \_\_\_\_\_

千 百 十 万 千 百 十 四 十 銭  
億 万 万 万 万

支払高	¥																				
戻入高 (この欄は赤 刷とする)	¥																				
科目更正高	¥																				
科目更正高 (この欄は赤 刷とする)	¥																				
差引高	¥																				

(この欄は赤刷とする)

昭和 年度

支 出 証 ひ、よ、う、書 綴

鳥 取 県

様式第五十四号 (B列五号)

昭和 年度 歳出 何々 会計

昭和 年 月 分支 払証ひ、よ、う、書 綴

麻 名 麻 印

昭和 年 月 日 提出

(備考) 一、この表紙は墨書すること

二、編さん、は袋綴とし裏面の綴合せには割印すること

様式第五十五号 (B列五号)

No. \_\_\_\_\_ 昭和 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日  
 物品(修繕)要求書 課物品取扱主任 (印)

予算合達残高 ※ 円

支科目	昭和	年度		数量	単価	金額	納入住所氏名	納品		受領印	摘要
		会計	資格					希望日	領年月日		
※	※	※	※								

( ) 購入してよろしいか。

出納長	副出納長	合議	主査
総務部長	会計課長		

伺出 月 日 月 日 日 納品 月 日 月 日

様式第五十六号 (B列五号)

物品購入(修繕)伺簿

購入	数量		単価	金額	予算	事由		納付	人名	簿
品目	数量	単価	金額	金額	金額	事由	氏名	住所	姓名	品出納数
麻長										
主任	同月	納品	予算	合達額	可					
長	月 日	月 日	月 日	円	円					

備考 この帳簿は支出科目の節ごとに口座を設けるものとする。

様式第五十七号 (B列五号)

生産收穫物品引継簿

收支命令者	生産收穫者	品目	数量	予定見積	引継月日	出納長(出納員)
				金額	額	印

備考 生産收穫物品は価値の有無にかかわらず全部登記引継すること

様式第五十八号

物品保管転換引継書

年 月 日

鳥取県出納長  
(解名) 出納員 氏氏

(名) 氏

鳥取県出納長  
(解名) 出納員 氏氏 名 殿

左記物品保管転換として引継します。

記

種別	品目	数量	量	価	格	事	由
					円		換

備考 一 種別欄には備品、消耗品、動物等の区別を記載すること  
二 価格は帳簿に記載の価格によること  
三 消耗品は価格の記載を要しない

様式第五十九号

物品保管転換領收証書

昭和 年 月 日

鳥取県出納長  
(解名) 出納員 氏氏

(名) 氏

鳥取県出納長  
(解名) 出納員 氏氏 名 殿

左記物品保管転換により領収しました。

記

種別	品目	数量	量	価	格
					円

備考

- 一 種別欄には備品、消耗品、動物等の区別を記載すること。
- 二 価格は帳簿に記載の価格によること。
- 三 消耗品は価格の記載を要しない。





様式第六十四号 (B列五号)

戻入整理簿

課名	番号	発行日	指定期限	金額	納年月日	職名	納付者	発行者

様式第六十五号

消耗品交付簿 物品出納員

品目	年月日	称呼	受払	残	事由	課長	受給者職氏名	印

備考 物品取扱主任を置かない際は出納員が受払整理すること。

様式第六十六号 (B列五号)

備品整理簿

(出納員、物品取扱主任、物品取扱者)

品名	年月日	呼称		課員		残	事由	貸与者		印
		出納長、出納員	借用	返納	現在			貸与	返納	

No. \_\_\_\_\_

様式第六十七号

昭和 年度(何々会計)歳入決算書

科(款項目節)	予算令達額	調定額		収入済額	不納額	収入未済額	予算令達額に比し		附記
		前年度以前繰越額	現年度計				増	減	

備考 1 附記欄には収入済額の計算の基礎、収入未済額の生じた理由、予算令達額に対する増減の理由その他参考となる事項を記載すること。但し、複雑なものには別に明細書を添付しなければならない。

2 調定額欄中前年度以前繰越額は税について記載しなければならない。

様式第六十八号

昭和 年度 (何々会計) 歳出決算書

科 (款項目節)	算 額		支 出 済 額	不 用 額	附 記
	予 算	流 用 増 減 Δ 減			
	予算令達額				

備 考 流用については増減とも当該科目の附記欄で流用した科目及びその金額理由を記載し不用額の生じた説明を附すること。但し、複雑なものは別に明細書を添付しなければならない。

様式第六十九号

何 年 度 (何々会計) 歳入計算書

科 (款項目節)	予 算 額		各令 調整 額	予 現 調 定 額	収 済 不 償 収 済 未 償 済 未 償 済	予 算 現 額	附 記
	当 算	包 追 加 更 正 額 計					
	予算額	追加更正額		前年度繰越額	前年度繰越額		

備 考 1 附記欄には収入済額の計算の基礎、収入未済額の生じた理由、予算令達額に対する増減の理由その他参考となる事項を記載すること。但し、複雑なものは別に明細書を添付しなければならない。  
2 調定額累中前年度以前繰越額は税について記載しなければならない。

様式第七十号

何 年 度 (特別会計何々) 歳出計算書

科 (款項目節)	予 算 額		予 算 決 定 後 追 加 額	各令 調整 額	流 用 増 減	予 現 支 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額	附 記
	当 算	包 追 加 更 正 額 計							
	予算額	追加更正額	前年度繰越額	解算額	前年度繰越額	前年度繰越額	翌年度繰越額	追加予算額	

備 考 1 流用については増減とも当該科目の附記欄で流用した科目及びその金額理由を記載し不用額の生じた説明を附すること。但し、複雑なものは別に明細書を添付しなければならない。  
2 予算減額の欄には予算額、予算決定後追加額、各令へ令達額、流用増減の差引合計を記載すること。

様式第七十一号 (B列五号)

前 渡 資 金 (概 算 払 金) 整 理 簿

概算記帳 月 日	債 権 者 名	備 考	前 渡 資 金 概算支払高	精 算 月 日	精 算 高	精 算 の 結 果		返 納	
						追 求 高	返 納 高	告知書 番号	納付指 在 月 日
			円	円	円	円	円		

様式第七十二号 (B列五号)

前 金 払 金 整 理 簿

前 払 金 人	契約金額	摘	要	主管課	支払年月日	返 納 年 月 日
					前払金額	

様式第七十三号 (B列五号)

繰 替 金 整 理 簿

支 出 年 月 日	繰 替	先	金 額	主管課	納付指定		納 付		責 任 者 印	未 別 印
					年	月	日	年		

(済)

様式第七十四号

歳 入 簿

(出 納 長)

年 月 別	摘	要	予 算 額	調 定 額	收 入 済 額	不 納 欠 損 額	收 入 未 済 額
年 月			円	円	円	円	円

備 考

この帳簿は款項目ごとに口座を設け収入計算書により登記し月計累計を附するものとする。

様式第七十五号

歳 出 簿

(出納長)

年 月 別	摘 要	予 算 額	支 出 額	予 算 残 額
年 月		円	円	円

備 考

この帳簿は款項目ごとに口座を設け支出計算書により登記し月計累計を附するものとする。

様式第七十六号

收 入 簿

(出納長 県出納員)

年 月 日	摘 要	予 算 額	調 定 額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
月 日		円	円	円	円	円

備 考

この帳簿は款項目ごとに口座を設け登記し月計累計を附するものとする。

様式第七十七号

支出簿

(出納長)

年月日	摘要	予算額	支出額		残額
			委任額	本庁支出額	

備考

- 1 この帳簿は款項目節ごとに口座を設け登記し月計累計を附するものとする。
- 2 支払額の欄には支払一件ごとに登記するものとする。

支出簿

(出納員)

年月日	摘要	予算額	支出額		予算残額

備考

- 1 この帳簿は款項目節ごとに口座を設け登記し月計累計を附するものとする。
- 2 支払額の欄には支払一件ごとに登記するものとする。

様式第七十八号

現金出納簿

(出納長 出納員)  
(資金の前渡を受けた者)

年月日	摘要	受		払		残	てん末
		円	円	円	円		

備考

- 1 てん末の欄は後日払渡したときその年月日を記入するものとする。
- 2 歳入歳出外現金の払は現金を払渡し又は払渡通知を發したとき登記するものとする。
- 3 この帳簿には歳入金歳出金歳入歳出外現金の口座を設け且つ口座が二以上にわたるときは総括を設けて登記し月計累計を附するものとする。

様式第七十九号

前渡資金出納整理簿

(資金の前渡を受けた者)

年月日	摘要	受			払			残額
		前渡資金受額 円	還納額 円	差引計 円	支払額 円	回収科目更正額 円	差引計 円	

備考

- 1 この帳簿は款、項、目、節ごとに口座を設け登記し月計累計を附するものとする。
- 2 還納額欄は前渡資金の不要となつたもので返納した額を登記するものとする。
- 3 回収科目更正欄は親払過払等で回収したものと及び科目更正をしたものを登記するものとし更正減額は朱書すること。
- 4 支払額欄には支払一件ごとに登記するものとする。
- 5 この帳簿は前渡資金出納計算書を作成する元となるものである。

様式第八十号 (B列五号)

有 価 証 券 出 納 簿

(出納長 出納員)

納 付 書 号	年 月 日	摘 要	受	払	残	納 入 住 所 名	備 考

備 考

この帳簿には月計累計を附するものとする。

様式第八十一号

歳 入 簿

(果本金庫)

年 月 日	摘 要	收 入 額	累 計
		円	円

備 考

この帳簿は一般会計と特別会計との二冊に区分し特別会計にあつては款の口座を設け各支金庫の月計対照表により登記し月計累計を附するものとする。

様式第八十二号

歳 出 簿

(県本金庫)

年 月 日	摘 要	予算令達済額	案内受領額	現金支払額	予算令達残額	支払未済額
		円	円	円	円	円

備 考

この帳簿は一般会計と特別会計との二冊に区分し特別会計にあつては款の口座を設け各金庫の月計対照表により登記し月計累計を附するものとする。

様式第八十三号

現金出納総括簿

(県本金庫)

年 月 日	摘 要	受		払		残
		円	円	円	円	

備 考

この帳簿は各県金庫の毎月現金日計表により登記し月計累計を附するものとする。

様式第八十四号

歳入歳出外現金出納総控簿

(県本金庫)

年月日	摘要	受	払	残
		円	円	円

備考

この帳簿は各金庫月計対照表により登記し月計累計を附するものとする。

様式第八十五号

収入簿

(県金庫)

年月日	摘要	収入額	累計
年 月 日		円	円

備考

この帳簿は一般会計と特別会計との二帳に別け各行解ごとに口座を分けなお特別会計にあつては数字の口座を登記し月計累計を附するものとする。

様式第八十六号

支 出 簿

(果 金 庫)

年 月 日	摘 要	予算令達済	案内支払	現金支払額	予算令	支払未済額
		通知受領額	通知受領額		達 額	

備 考

- 1 この帳簿は一般会計と特別会計の二冊に区分し各庁庫ごとに口座を分けなお特別会計にあつては  
 款の口座を設け登記し月計累計を附するものとする。
- 2 予算令達残額とは予算令達済通知受領額から案内支払通知受領額を差引いたものとする。
- 3 支払未済額とは案内支払通知受領額から現金支払額を差引いたものとする。

様式第八十七号

現 金 出 納 簿

(果 金 座)

年 月 日	摘 要	受		払		残 額
		円		円		

備 考

この帳簿は毎月出納の終つたとき証ひより書により登記し月計及び累計を附するものとする

様式第八十八号

歳入歳出外現金出納簿

(果金庫)

年月日	摘要	受	払	残
		円		円

備考

この帳簿は出納長又は果出納員ごとに口座を設け登記し月計累計を附するものとする。

様式第八十九号

回送金受払内訳簿

年月日	摘要	受	入	払	出	受	払	差引	現在
			円		円				円

備考

総括及び各金庫ごとに口座を設け登記し月計累計を附するものとする。

様式第九十号

収入振替金内訳簿

年月日	摘要	受入	払出	受払	差引現金

備考

総括及び各金庫ごとに口座を設け登記し月計累計を附するものとする。

様式第九十一号

支出振替金内訳簿

年月日	摘要	受入 円	払出 円	受払	差引現金 円

備考

総括及び各金庫ごとに口座を設け登記し月計累計を附するものとする。

様式第九十二号

支払通知整理簿

(果金庫)

年月日	送金種別	金額	支払場所	氏名	領收証書到着 年月日	契印
		円				

備考

歳入金支払通知書、歳入歳出外現金払渡通知書を整理するものとする。

様式第九十三号

振替貯金受払整理簿

年月日	摘要	払込高 通知号	振替貯金払込 通知額	振替貯金口座 からの払出額	差引 引当額
			円	円	円

様式第九十四号 (B列五号)

歳入予算経理簿

科目	款	項	目	節	細節	備考
調定依頼月	摘要	予算高	収入命令高	収入調定高	差引残高	収入済日
		円	円	円	円	

備考

- 1 この帳簿の収入月日は常に会計課の帳簿と照合し正確を期すること。
- 2 この帳簿には月計累計を附すること。

様式第九十五号 (B列五号)

歳出予算経理簿

月日	摘要	予算令高	支払命令高	支出済高	残高	主務課長印	会計課長印	摘要
		円	円	円	円			

備考

- 1 この帳簿には各節若しくは各細節ごとに口座を設けるものとする。
- 2 この帳簿には月計累計を附するものとする。
- 3 この帳簿は常に出納長の帳簿と照合して正確を期するものとする。

様式第九十七号

帳簿検査済証

検査済	昭和 年 月 日まで
検査員 氏 名 印	検査年月日 昭和 年 月 日

様式第九十六号(美濃版)

(県費分)

昭和 年 月 日	現金 内金	検査したところ右のとおりであります。	現金 手許 果金庫 寄託高	受 入 高	越 高
昭和 年度 自昭和 至昭和 年 年 月 月 日			現在 保管高	払 出 高	
出納員 職 氏 名 印	検査員 職 氏 名 印				

